

オットーボック装具 取扱説明書 ②（製品篇）

50A10 オモ インモビル 50A11 オモ インモビル ローテーション

義肢装具士をはじめとする医療従事者の方々へ

このたびは本製品をご採用いただきまして、誠にありがとうございます。本製品を安全にお取り扱いいただくために、ご使用前に必ず取扱説明書①（基本篇）と取扱説明書②（製品篇）をよくお読みいただき、使用される方に装着方法、使用上の注意、お手入れ方法などを必ずご案内ください。
また取扱説明書①②は、必要な際にいつでも参照できるようにお手元に大切に保管してください。

【適応・用途】

肩関節外転装具『50A10 オモ インモビル』、肩関節外転・外旋装具『50A11 オモ インモビル ローテーション』は、肩関節の外転位、外転・外旋位を保持する装具です。

50A10 オモ インモビル

肩関節の各種疾患に伴う術後や外傷後などの安定のための肩関節外転位の保持

50A11 オモ インモビル ローテーション

肩関節の各種疾患に伴う術後や外傷後などの安定のための肩関節外転位及び外旋位の保持



注意

● 適応については、必ず医師の診断を受けてください。

【特徴】

肩関節外転装具『50A10 オモ インモビル』は、0°、15°、30°、60°、90°の外転位の角度調整により、各種保持角度の選択と段階的な角度調整を行なうことができます。

肩関節外転・外旋装具『50A11 オモ インモビル ローテーション』は、外転位の角度調整と外旋位 10°、20°、30°の角度調整が可能です。外転位と外旋位をそれぞれ組合せた角度調整を行なうことができます。



【構成部品】

50A10 オモ インモビル

- (1) 本体フレーム（表面被覆：布製カバー）
 - A ウエストベルト
 - B ショルダーストラップ
 - C ショルダーパッド
 - D 手掌パッド
- (2) 外転角度用の各パーツ
 - E 両面フック面ファスナー：0° 設定用
 - F 外転ブロック 小：15° 設定用
 - G 外転ブロック 大：30°、60°、90° 設定用
- (3) 肩や頸部周辺への圧迫軽減用ストラップ（両面フック面ファスナー小 付）：2本
- (4) 上腕サポートストラップ
- (5) クッションパッド



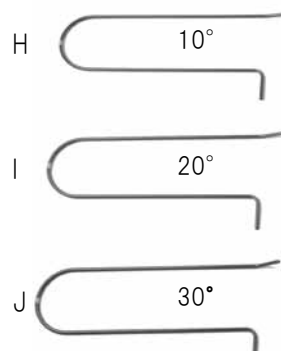
50A11 オモ インモビル ローテーション

- (1)～(5)は、『50A10 オモ インモビル』と同内容
- (6) 外旋角度用パーツセット
 - H 10° 外旋パーツ（前腕パイプフレーム）
 - I 20° 外旋パーツ（前腕パイプフレーム）
 - J 30° 外旋パーツ（前腕パイプフレーム）

※本体フレームの交換用カバーは別途右の発注品番でお求めいただけます。

品番	サイズ
29A217=S	サイズ S
29A217=M	サイズ M
29A217=L	サイズ L

(6) 外旋角度用パーツセット



※ オモインモビル（50A10）で外旋角度調整を行う場合は、下記の発注品番にて本製品をお求めください。

発注品番	サイズ
29A222=R-S/M	右：サイズ S/M
29A222=R-L	右：サイズ L
29A222=L-S/M	左：サイズ S/M
29A222=L-L	左：サイズ L

【構造】

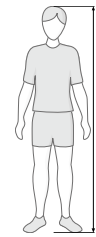
・『50A10 オモ インモビル』は、装着者への当たりの緩衝や保護のために『本体フレーム』を布製カバー（発泡フォーム内蔵）によって被覆しています。『調整用各ベルト・ストラップ』、『手掌パッド』、『外転角度用のパーツ』などは、面ファスナーで取付けることができます。

・『50A11 オモ インモビル ローテーション』は『50A10 オモ インモビル』と同様の構造をしており、さらに 10°、20°、30° で角度設定のできる『外旋角度用パーツ』を付属しています。 外旋角度調整が必要な際には、『本体フレーム』の布製カバーに内蔵されているパイプフレーム連結部分の『ロックピン』を取外すことで、『外旋角度用パーツ（前腕パイプフレーム）』を簡単に交換をすることができます。

【サイズの選び方】

50A10 は左右両用です。装着者の身長によりサイズを選択してください。

（一箱 :1 個入り）

発注品番				サイズ	適用範囲/身長(cm)	
50A10=S	左右	50A11=R-S	右	S	150 ~ 165	
		50A11=L-S	左			
50A10=M	左右	50A11=R-M	右	M	165 ~ 175	
		50A11=L-M	左			
50A10=L	左右	50A11=R-L	右	L	175~	
		50A11=L-L	左			

※ 計測値が 2 サイズにまたがる場合は、大きい方のサイズをお選びください。

【調整方法と装着手順】

 注意	● 本製品を初めて装着される際には、必ず医師、義肢装具士をはじめとした医療従事者による調整と装着手順の指導が必要となります。
備考	● 本製品を日常的に使用される場合には、適切な装着のためにも、医療従事者、介助者などの補助のもとで装着することをお勧めします。

装着前に取扱説明書①基本篇の【使用上の注意—必ずお読みください—】をよく読み、また、医療従事者による装着手順の指導に従って、正しく装着してください。尚、装着前の調整は以下の順番で行なってください。

・『50A10 オモ インモビル』および『50A11 オモ インモビル ローテーション』の本体は左右兼用構造です。納品時には、右の肩関節用に初期設定されていますので、右肩関節に装着する場合はそのまま、左肩関節に装着する場合には「1. 左肩関節用への設定変更」の指示に従って設定変更をしてください。

・その後、『50A11 オモ インモビル ローテーション』は「2. 外旋用前腕パイプフレームの取付と外旋角度調整」より、『50A10 オモインモビル（標準仕様）』は「3. 外転角度調整」より開始してください。

1. 左肩関節用への設定変更

① 『本体フレーム』の体幹支持部から『ウエストベルト』と『手掌パッド』を外し、反対側の同じ位置に取付けてください。『ウエストベルト』を再度取付ける際には、プラスチックのカンが正面（前面）になるようにしてください。

② 『アームストラップ』と『ショルダーストラップ』を取外してください。『ショルダーパッド』は『ショルダーストラップ』から外さないでください。

③ 左の肩関節用に設定した後、『ショルダーパッド』を反転させ、継ぎ目が肌に触れないようにしてください。

※ これ以降の写真は左肩関節の場合の調整、装着になります。



写真2-①



写真2-②

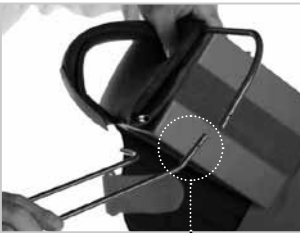


写真2-③

2. 外旋用前腕パイプフレームの取付と外旋角度調整

外旋角度の調整は、『外旋角度用パーツ』を用いて行います。（50A11には付属、50A10は発注品番 29A222 にて別注）

① 前腕部分の初期設定は、肩関節内外旋 0°（中間位）に設定されています。上腕カバーと前腕カバーの接続部の面ファスナーを取り、前腕カバーを取外します（写真2-①）。

② パイプフレームの 2 カ所の連結部の『ロックピン』を外し、『前腕パイプフレーム』を取出します（写真2-②）。

③ 10°、20°、30° から希望する角度の『外旋角度用パーツ』選び、本体フレームに取付け、元のように『ロックピン』でパイプフレームの連結部を固定します（写真2-③）。

④ 次に前腕カバーをパイプフレームに被せます。前腕カバーと上腕カバーの接続部を面ファスナーで留め、再度接続してください。

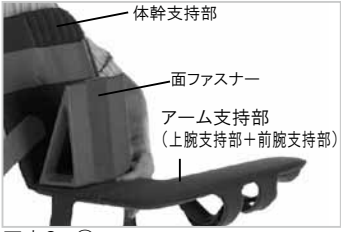


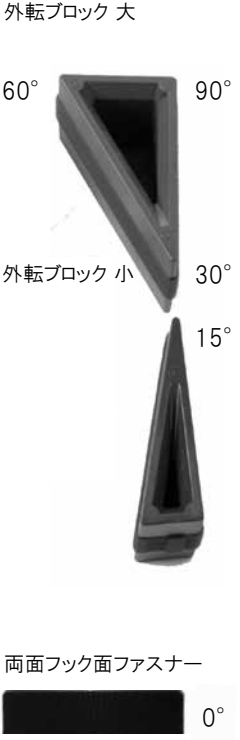
写真3-①



写真3-②



写真3-③



3. 外転角度調整

肩関節外転角度は、付属の『外転ブロック』を使用し、設定することができます。

① 『本体フレーム』を広げて、上腕支持部の関節中心軸の上部（体幹支持部とアーム支持部の連結部分）に設定したい角度になるよう『外転ブロック』の先端を配置させます（写真3-①）。

アーム支持部を折り、『外転ブロック』上の面ファスナーでしっかり固定してください。

外転ブロックは、先端の角度がそれぞれ異なるため、設定する角度を 5 段階で調整することができます。

② 15°、30°、60°、90° の角度設定

『外転ブロック大・小』のいずれかの面を面ファスナーで固定し、15°、30°、60°、90° の角度設定をしてください。（写真3-②は 30° の設定）

③ 0° の角度設定

『外転ブロック』を使用しないで、付属の『両面フック面ファスナー』を用いて、『体幹支持部』と『上腕支持部』をしっかり固定してください（写真3-③）。

4. ショルダーストラップとウエストベルトの長さ調整

装具を適切に機能させるために、必要に応じて医師や義肢装具士により、『ウエストベルト』や『ショルダーストラップ』の長さを調整してください。 面ファスナー部分を取外したベルト、またはストラップの端末をカットします。次に面ファスナー部分を再度取付けてください。面ファスナーを留める位置は、操作しやすいように身体の正面（前面側）になるようにしてください。

5. 装着の手順

備考	● 装着者の肩関節、上肢を安全にかつ適切な位置に保持するため、2人の調整者により装着および着脱を行なうことをお勧めします。
-----------	---



写真5-①

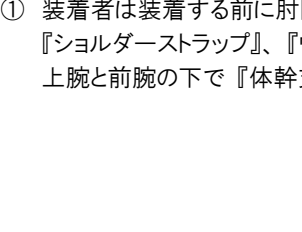


写真5-②-2



写真5-②-1



写真5-②-2

① 装着者は装着する前に肘関節を軽く曲げます。『ショルダーストラップ』、『ウエストベルト』、『アームストラップ』の面ファスナーを外します。上腕と前腕の下で『体幹支持部』を体幹に沿わせて位置決めをします（写真5-①）。

② 『ショルダーストラップ』を反対側（健常側）の肩にたすきがけします。ショルダーストラップに取付けた『ショルダーパッド』が装着者の頸部周辺（僧帽筋付近）になるように調整してください。

『ショルダーストラップ』を『体幹支持部』に取付けた細いプラスチックカンに通し、折返して面ファスナーで留めます（写真5-②-1）。

面ファスナーの長さは個々に合わせて調整してください。

『体幹支持部』に面ファスナーで取付けられた広いプラスチックカンに『ウエストベルト』を通し、折返して面ファスナーで留めます（写真5-②-2）。

プラスチックカンの取付け位置により、『ウエストベルト』の高さを調整してください。

③ 『手掌パッド』を面ファスナーで適切な位置に取付け、次に『前腕ストラップ』（写真5-③-1）、続いて『上腕ストラップ』を閉じます。

前腕と上腕の『アームストラップ』は、内側から外側、または外側から内側に閉じる方向を変更できます。

上腕が支持部の適切な位置にしっかり保持されていることを確認してください。必要に応じて、付属の『上腕サポートストラップ』を取付けることで、前腕・上腕部分の支持性を高めることができます。

写真5-③-2 は肘関節に追加して（矢印）、上肢の安定性を高めた使用例です。



写真5-③-1



写真5-③-2



写真5-⑤-1



写真5-⑤-2

⑤『ショルダーストラップ』により肩や頸部周辺への圧迫や食い込みが強い場合などは、付属の『圧迫軽減用ストラップ』で軽減することができます。

『ショルダーパッド』の端に取付けた面ファスナーをめぐり、『圧迫軽減用ストラップ』の一方を取付けます。『ショルダーパッド』のもう一方の端にも同様に『圧迫軽減用ストラップ』を取り付けます。(写真5-⑤-1)

2本の『圧迫軽減用ストラップ』をクロスさせ、『両面フック面ファスナー』で『ウエストベルト』に取付けてください。(写真5-⑤-2) ストラップは必要に応じてカットし、長さを調整してください。

⑥ 全体を強く締めすぎないように注意し、正しく装着、調整されているか確認してください。

装具により上腕骨頭が上方に押されていないこと、または腋窩部が圧迫されていないことを確認してください。必要に応じて、医師や義肢装具士などにより、腸骨稜周囲のパイプフレームを調整することができます。



写真5-⑦-1



凹みの部分で折りたたんでください。

⑦ 外転肢位により腋下などへの当たりが強い場合には、付属の『クッションパッド(起毛素材で覆われた10mm厚の発泡フォーム製)』で緩和することができます。

両面フック面ファスナーをクッションパッドに取付けます(写真5-⑦-1)。

パッドには折りたたみやすいように凹みがありますので、その部分を外転ブロックの腋下が当る部分に当てて取付けます(写真5-⑦-2、⑦-3)。

腋下以外にも、必要な箇所に使用することができます。



写真5-⑦-2



写真5-⑦-3

【お手入れ方法と注意事項】



注意

● お手入れをされる場合には、取扱説明書 ①【お手入れ方法と注意事項】を必ずご覧ください。

- ・『本体フレーム』の布製カバーおよび各ストラップは、手洗いで洗濯ができます。
- ・お手入れ前に『パイプフレーム』を含む『本体フレーム』を布製カバーから外し、『手掌パッド』や『外転角度用パーツ』などは取外してください。また、面ファスナーのフックとループ部分を取外してください。
- ・30℃以下の水と中性洗剤を使用し、手洗い、陰干しをしてください。布製カバーは、低温設定(デリケートサイクル)で乾燥機の使用ができますが、お使いの乾燥機の仕様を確認した上で使用してください。
- ・乾燥後、『本体フレーム』に布製カバーを被せ、『手掌パッド』、全ての面ファスナー、『外転角度用パーツ』を再度元通りに取付けてください。

備考

● 必要に応じ、交換用の布製カバーの購入が可能です(別売品)。布製カバーのお手入れ中は、交換用のカバーをご使用いただくことをお勧めします。

【品質表示】 本体フレーム：スチール 本体カバー：発泡フォーム ベルト：ナイロン

お問い合わせ先

掲載内容の無断使用禁止

掲載されている内容、文章、画像については、無断で使用もしくは転載することを禁止します。

輸入販売元

オットーボック・ジャパン株式会社 www.ottobock.co.jp

〒108-0023 東京都港区芝浦4-4-44 横河ビル8F TEL:03-3798-2111(代表) FAX:03-3798-2112

O-IFU-T-50A10/50A11-201210